

インタラクティブ&ショートオーラルセッション

カメラレディ原稿作成にあたって

第14回画像センシングシンポジウムでは、前回に引き続き、電子版予稿集と印刷版予稿集の2種類の予稿集を発行します。これは、主たる予稿集である電子版予稿集の内容充実を図りつつ、副本という位置づけの印刷版予稿集を軽く持ち運びやすいものにするためです。このためインタラクティブ&ショートオーラルセッションの著者の皆様は、電子版予稿集用カメラレディ原稿（フルレンクス原稿フォーマット）、および印刷版予稿集用カメラレディ原稿（ダイジェスト原稿フォーマット）をご準備して頂くことになります。

- (1) ページ数: 電子版予稿集用カメラレディ原稿 2~8 ページ
印刷版予稿集用カメラレディ原稿 1ページ
 - (2) フォーマット: それぞれの原稿のサンプルを参照してください。
 - (3) 提出期限: **2008年4月4日(金)**
 - (4) 提出方法: 電子投稿 (<http://ssii.jp>)
 - (5) カメラレディ原稿の書き方: 査読者からのコメントを反映し、以下の5項目に沿って記載してください。
 - ① **提案の骨子**
 - ② **背景・課題・従来技術**
提案技術が解決する課題と位置付け、特に従来技術との関係を明確化する。
 - ③ **提案技術のコンセプト/原理/セールスポイント**
どこが有用であるのか? /どこに優位性があるのか? /何が新しいのか?などを明確に主張し、提案技術の原理を記述する。また提案技術の前提条件/制約条件なども明確化する。
 - ④ **評価方法および評価結果**
課題が解決できる基準を明確にし、実験結果の具体的な数値などを提示する。
 - ⑤ **提案技術の効果**
提案技術により、本質的に何が良くなったのか? /新たな知見は何なのか?などを簡潔に書きまとめる。
-